

第 5 回 早稲田大学生協環境委員会 (第 23 号)

早稲田大学生協環境委員会の歴史は、1998 年の早大生協理事会に端を発しています。この理事会にて、「実際に実行可能なことから実行する」委員会として、常設の環境委員会を設置することが決定したのです。1999 年には現在の「早稲田大学生協環境委員会」へと名前を変更し、以来、環境フェア(書籍、文具)、フィールドワーク、紙リサイクル可能な弁当容器「ホッかる」への取り組み、勉強会、環境配慮型商品開発、エコクック、エコツアーなどを行ってきました。2006 年には屋久島エコツアー、「ホッかる」デザインコンテスト、環境フェア等を行いました。

紙リサイクルできる弁当容器「ホッかる」の特徴は、弁当容器のごみ削減につながることです。この「ホッかる」への取り組みとしては、回収率調査、分別表示の改善、リサイクルしやすい形状についての取り組み、デザインコンテストなどを行ってきました。今後も、より組合員(学生)に親しみやすい、広く受け入れられる「ホッかる」を目指します。

環境フェアでは、エコ文具、エコブックの販売、環境配慮型商品の開発販売などを行ってきました。

フィールドワークとしては、現場を知ろうと、環境委員会のメンバーや、学生の一般参加者も募って、今まで割箸リサイクル工場、トナーカートリッジ工場見学、廃油リサイクル工場見学などを行いました。

その他にも、環境問題についての知識をより深めようと、保存料、グリーン購入法、フェアトレードなどについての勉強会を行いました。

これらの活動に加えて、最近では、一般の学生を巻き込んだ、エコクッキング教室、屋久島エコツアーなどを行ってきました。

大学に通う学生(院生も含む)で、月 1 回のミーティングに加えて、生協店舗での活動を不定期に行っています。特徴として、学生と生協職員が話し合いを行いながら、8 年間活動してきた点が挙げられます。お互いの信頼関係を大切に、学内の環境サークル「環境ロドリゲス」などと協力しながら、今後も早大のエコキャンパスへの活動をしていきます。

ホームページ http://blogs.yahoo.co.jp/wcoop_environment